

品質工学の動画を観て

試しに独力で

使おうとした結果

不安で最初の

一歩が踏み出せなかった話



この動画は、以前公開した動画のリニューアル版です



音声合成ソフトを使うことで
動画の雰囲気を変えてみました

オレの名前はイッチ

ある中堅の自動車部品会社で技術者をしている



ある日、YouTubeのオススメ動画で品質工学の動画を観てたら 何だか妙に心惹かれたんだ

最適条件が求まった

要因効果図 (各因子の効果) ▶ 良い組合せを選ぶ

地心距離

使用温度 インクの粘性 インクの種類 筆圧 ペン先の構造 ペン先の角度 ポールの材質 ポールの粗さ

設計条件	水準		
	1	2	3
A 使用温度	常温	低温	
B インクの粘性	低	中	高
C インクの種類	イ	ロ	ハ
D 筆圧	低	中	高
E ペン先の構造	ニ	ホ	ヘ
F ペン先の角度	狭	中	広
G ポールの材質	ト	チ	リ
H ポールの粗さ	粗い	中	鏡面

最適条件が求まった!

7

1:35 / 3:40



動画を観ると、
自分でも試してみたいくなるよな!



でも品質工学って、動画で観たようにやれば
独力で活用できるのだからか？
本音を言えば、オレは少し不安だ



だから、こんな風に考えてみた

「品質工学の活用」を



「車の運転」に

置き換えてみることにしたんだ

それは、なかなか面白そうだな



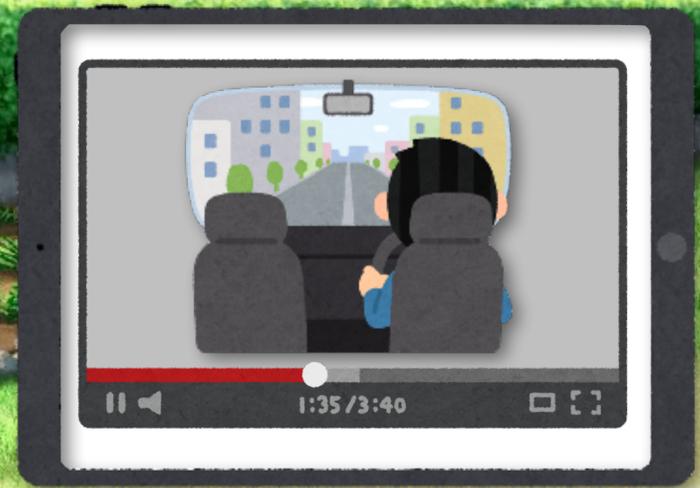
未経験者が
(独力で)
品質工学を活用できるか?



未経験者が
(独力で)
車の運転ができるか?



車の運転が出来ない人が
YouTubeの動画「車の運転の仕方」を観て
運転ができるだろうか？



車の運転が出来ない人が
YouTubeの動画「車の運転の仕方」を観て
運転ができるだろうか？



私は自信ないわね



場所によるな。誰もいない砂漠なら大丈夫かもwww

誰かが言ったように
誰もいない広い場所でなら
なんとか運転できそうだ



しかし、公道で
事故を起こさずに、安全に運転できるか？
と考えると、かなり不安だ



ましてや、夜中の公道ではどうだろうか？
暗い夜道を、安全に運転ができるだろうか？
殆ど「無理」と言っていいたいだろう



オレも無理だな！



事故を起こさず



事故を起こさず
安全に



事故を起こさず
安全に
移動するには



教習所に通って「路上教習する」のが一番安心だ

教習中



今度は逆に
「車の運転」を



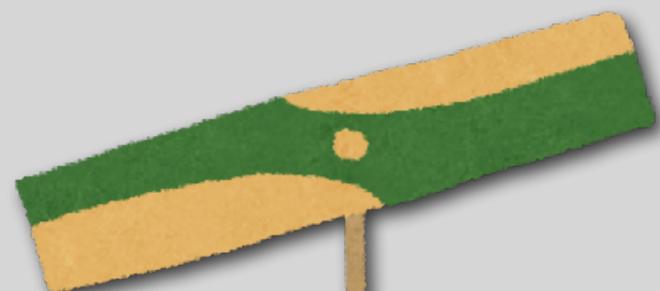
「品質工学の活用」に
置き換えてみる



**「車の運転」における
「広い場所」というのは**



**「品質工学の活用」ならば
「品質工学用の教材」に例えることが出来る
教材なら(失敗を気にせずに)品質工学を活用できそうだ**



教材



「車の運転」における
「広い場所」というのは



「品質工学の活用」ならば
「品質工学用の教材」に例えることが出来る
教材なら(失敗を気にせずに)品質工学を活用できそうだ



確かに教材なら
失敗したとしても
精神的なダメージは少ないだろうな



次に、「車の運転」における
「公道」というのは



「品質工学の活用」ならば
「業務で・失敗せずに・成果を出せるか？」と
例えることができる



次に、「車の運転」における
「公道」というのは



「品質工学の活用」ならば
「業務で・失敗せずに・成果を出せるか？」と
例えることができる



私には無理そうね



オレは失敗を恐れない性格だが
「成果を出せるか？」というと、自信ないなあwww



みんなの指摘にあるように

「失敗したらどうしよう？」

そんな不安に押しつぶされて、腰が引けてしまうだろう

失敗

不安

じゃあ、どうしたらいいの?!



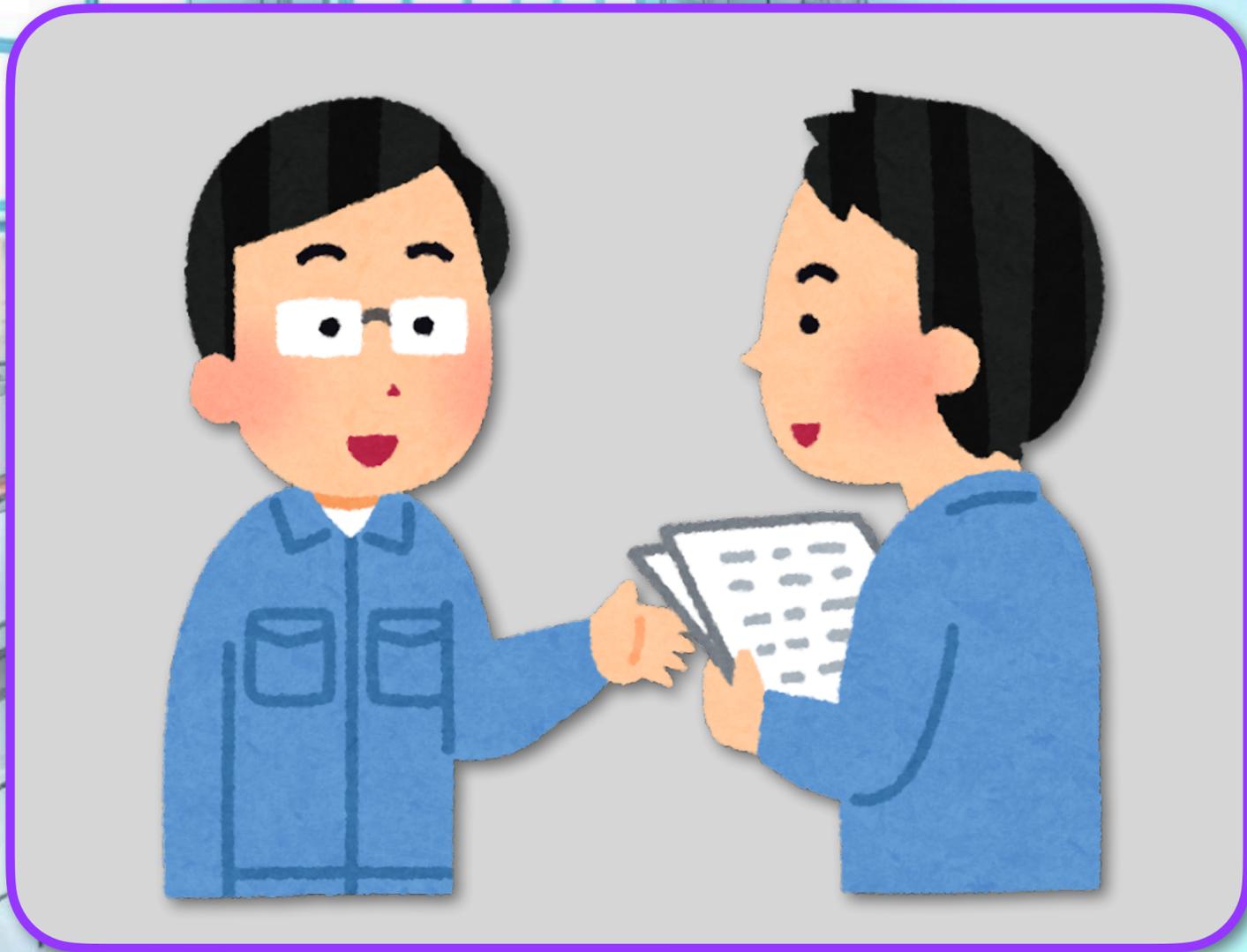
ここで、「車の運転」における
「路上教習する」というのを
思い出して欲しい



「品質工学の活用」で例えると
「品質工学に詳しい人に、フォローしてもらいながら活用する」
という感じになる



品質工学に詳しい人にフォローしてもらえらば
安心して品質工学を活用できそうだ!



しかし、品質工学に詳しい人って、誰だるう？
漠然としていて、全く思い浮かばない

品質工学に詳しい人って、身近にいるのかしら？



少なくともオレの周りにはいないぞwww



「品質工学に詳しい人」とは この3者だ

社内の経験者



地方の品質工学
研究会の会員



品質工学
コンサルタント



一番良いのは社内の経験者だ。理由は

社内の経験者



身近で相談できる

無料で指導を受けられる

(同じ会社の社員なので)
開発内容を
オープンにできる

それが一番理想ね



2つ目は「地方の品質工学研究会の会員」だ。理由は

地方の品質工学
研究会の会員



(研究会開催時に)
身近で相談できる

(低額な会費で)
アドバイスを受けられる

開発内容を
(ある程度)
オープンにする必要がある

2つ目は「地方の品質工学研究会の会員」だ。理由は

確かに、ある程度開発内容をオープンにしないと
詳しい議論はできないからな



肝心な所は「社外秘」だったりするから
突っ込んだ議論が出来るか不安はあるわね



開発内容を
(ある程度)
オープンにする必要がある

地方
研究会の会員

才能、情熱、こころ



地方の品質工学研究会は、
ネットで検索すれば直ぐに見つかるだろう
とにかくコンタクトして、一度見学してみることをオススメする

地方の品質工学
研究会の会員



地方の品質工学研究会は、
ネットで検索すれば直ぐに見つかるだろう
とにかくコンタクトして、一度見学してみることをオススメする

地方の品質工学
研究会の会員

ちょっと敷居の高さを感じるわね



オレの県には研究会は無いらしいが
オンラインで参加できるみたいだから
他県の研究会にコンタクトしてみるかな



3つ目は、「品質工学のコンサルタント」だ。理由は

品質工学
コンサルタント



(来訪時に) 身近で相談できる

(メールで) 気軽に相談できる

(秘密保持契約を締結するので)
開発内容を
オープンにできる

予算の確保が必要

3つ目は、「品質工学のコンサルタント」だ。理由は

予算以上の成果が得られれば、何の問題も無いわね



品質工学
コンサルタント

(不動時に) 身近に相談できる

(メールで) 気軽に相談できる

(秘密保持契約を締結するので)

気難しいコンサルタントは敬遠したいわね
相性もあると思うし



予算の確保が必要



まとめ
車の運転のように
品質工学も
「詳しい人」に教えてもらいながら
実践し、成果を出そう

独力では厳しそうなおことは分かったわ



ある時点で覚悟を決めて取り組まないと
ちゃんとした成果を得ることは難しそうだな



いかがでしたか？



**この動画が
品質工学に興味を持つきっかけになってくれれば
私は嬉しいです。**



有限会社
増田技術事務所
(公式チャンネル)

もっといい 品質工学



有限会社増田技術事務所 (公式チャンネル)

